未来塾「俳句を楽しむ」2024年春季(73期)～ 投句、神奈川県現代俳句協会 磯子凪句会、インターネット句会、蛮の会 熱刀句乱舞句会　他　投句

1. 20240110_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「回す」1句　②当季雑詠1句
①初回し　孫ははじめて　地球ゴマ
②節料理　振る舞い忙し　三年ぶり

2. 20240124_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「聞く」1句　②当季雑詠1句
①蠟梅や　能登にいつ咲く　急かせ聞く
②蠟梅や　黄の鎧兵(よろいへい)　一番手
3. 20240207_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「塗る」1句　②当季雑詠1句
①蕗の薹　庭に春塗る　先頭馬
②臥龍梅　歳重ねど　空にらむ

4. 20240221_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「守る」1句　②当季雑詠1句
①薦被り　笠の内かな　寒牡丹
②長谷の梅　自撮りの二人　空きを待つ

5. 20240306_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「解ける、溶ける」1句　②当季雑詠1句
①梅見山今に溶け出る広重絵
②酒粕や売り切れ表示酒屋呑み

6. 20240320_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「揺れる」1句　②当季雑詠1句
①鰆焼き小骨続々揺れぬ味
②卒業や写る微笑み子より父母

7. 20240403_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「跳ねる」1句　②当季雑詠1句
①園児列足跡跳ねる桜道
②陽光や古木を継いで初桜

8. 20240417_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「切る」1句　②当季雑詠1句
①舞鶴港シャッタ切る音春の雲
②古里の千本桜若木映え

9. 20240501_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「吹く」1句　②当季雑詠1句
①いま主役日陰に芽吹く茗荷竹
②年のせい眼張沖釣り酔い忘れ

1

10. 20240515_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「焼く⇒切る(勘違い)」1句　②当季雑詠1句①綿蒔きや種子の綿切る軒日向
② 母の日に届く花株孫の顔

11. 20240605_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「弾く」1句　②当季雑詠1句
①鴨の子の弾む羽音や川瀬道
② ちびバッタ乗りてゆったり花菖蒲

12. 20240619_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「抜ける」1句　②当季雑詠1句
①コロナ抜け山王祭山車を撮る
②免許証更新通知迷う梅雨

13. 20240703_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題1句「出る」1句　②当季雑詠1句
①ヤマモモの光る深紅や転げ出る
②サボテンの花や懐かしトゲもある

14. 20240717_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題1句「残る」1句　②当季雑詠1句

①半夏生残る緑は三分かな
②瀬戸の鱧梅と湯引きと磯の風

15. 20240807_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「群れる」1句　②当季雑詠1句

①布袋草鮒に群れられ膨れ顔
②コロナ明け顔の見たさや暑気払い

16. 20240821_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「通る」1句　②当季雑詠1句

①棚経の鉦の音通る古屋敷
（棚経の鉦の音しみる古空き家）
②火の粉散る真上の花火5千発
（首回す真上の花火父母の顔）

17. 20240904_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「伸びる」1句　②当季雑詠1句

①枝豆の湯気立つ山や手が伸びぬ
②駅舎にて挿花見納め鰯雲

18. 20240918_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「引く」1句　②当季雑詠1句

①太刀魚の塩焼き絶品うねる引き
②米あるか兄の電話や届く早稲

19. 20241002_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「立つ」1句　②当季雑詠1句

①酒粕の売り始め聞く立ち呑み屋
②棉摘の露の乾きを待つ朝

20. 20241016_未来塾「俳句を楽しむ　　①兼題「割る」1句　②当季雑詠1句

①鬼皮の割り方もめる丹波栗
②豊作か苅田見渡すトンビ凧

21. 20241106_未来塾「俳句を楽しむ　　①兼題「書く」1句　②当季雑詠1句

①お歳暮の添え書きで知る交わしどめ
②火打ちして響く手打ちや熊手市
22. 20241110　当季雑詠2句　現代俳句協会講座3

①新米や郷(くに)から届く光る粒
②葉が散りて柿の鈴なりせまる滝

23. 20241120_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「点す(ともす)」1句　②当季雑詠1句

①渋柿の灯点く窓古屋敷
②しおりにと桜紅葉や散歩道

24. 202412204_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「開く」1句　②当季雑詠1句

①タッパーのソイの煮凝り透ける海
②天日干す大根棚や三浦浜

25. 20241208　①当季雑詠2句　現代俳句協会講座4

①しおりにと桜紅葉を日暮坂
②冬日差す枯露柿の影古屋敷

26. 20241220　①兼題「打つ」1句　②当季雑詠1句

①殻を踏むイチョウ並木や冬日向
②冬日差す枯露柿の影古屋敷

27. 20250108　①兼題「過ぎる」1句　②当季雑詠1句

①冬の星逝きし弟と過ごし里 / 冬の星亡き弟と過ごす里 / 冬の星亡き弟を偲ぶ里 / 弟の面影(於母影)しのぶ冬の星
②寒牡丹編笠かぶり温き宿

28. 20250112_①当季雑詠2句−新年、正月など　現代俳句協会講座5

①木守柿空に朱ひかる古屋敷

②蠟梅や黄の鎧兵(よろいへい)一番手

29. 20250129_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「聞く」1句　②当季雑詠1句

①新聞の投函音や冬の朝／新聞の投函音や冬の霜／新聞の投函音や寒鴉
／新聞の投函音や寒雀
②春隣厚く藁敷く竹の庭／竹林の厚き敷き藁春隣

30. 20250205_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「喜ぶ」1句　②当季雑詠1句

①上り簗(やな)喜色漂うイサザ獲り／魚獲りの喜色満面上り簗
②納骨や木の芽和む代がわり／納骨の木の芽和らぐ日差しかな

31. 20250219_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「壊す」1句　②当季雑詠1句]

①壊れても懐中時計父の春
②菜の花忌遠く夢追う坂の上

32. 20250220_第五回木の芽風「俳句の島」俳句大会

① 竹林の厚き敷き藁春隣⇒「秀逸」作に選定
② 蠟梅や黄の鎧兵一番手

33. 20250305_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「返す」1句　②当季雑詠1句

①跳ね返り光る川面や春の鯉
／跳ね返る光の川面春の鯉　又は　跳ね返る川面の光春の鯉
②舟縁に雲に入りたる鳥の影／舟縁をよぎる鳥影春深し

34. 20250319_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「剥がす」1句　②当季雑詠1句

①ポンカンの剥がす香りや春の風
②諸子天抹茶塩合う舌鼓
　菜飯盛る茶碗の香り里ごころ

35. 20250402_未来塾「俳句を楽しむ　兼題「食らう」1句　②当季雑詠1句

①背伸びする花大根や庭の顔
②大荷物街の新顔風光る／大荷物の街の新人風光る／荷物引く街の新顔風光る

36. 20250416_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「捨てる」1句　②当季雑詠1句

①春愁や捨てる本束紐を解く(3点)
②やり残し減らすつもりや花筏(2点)

37. 20250416_未来塾会報誌「未来の風」への投句
棚経の鉦の音通る古屋敷

38. 20250507_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「並ぶ」1句 ②当季雑詠1句

①角打ちや並ぶ馴染みに風薫る
②空豆や焼いて塩して福のあて

39. 20250521_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「匂う」1句 ②当季雑詠1句

①苔の花雨に光るや古寺の朝／花苔の雨に光るや古寺の朝／苔の花雨に光るや石の段／打つ雨に踊る花苔石舞台

②宴の朝雨に目覚めし花菖蒲

40. 20250604_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「開く」1句 ②当季雑詠1句

①えごの花下向き顔の残りけり

②棉蒔や欠けた双葉のいくさ時／棉の芽や欠けた双葉のいくさ時

41. 20250618_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「吹く」1句 ②当季雑詠1句

①風鈴のささやく響き隣り風

②梅雨晴間町の落語で大笑い ／梅雨晴間町の落語や苦笑い／梅雨晴間町内会の落語かな

42. 20250627_總持寺合同吟行会　　嘱目2句

①梅雨の朝光る廊下や僧の影

②梅雨晴間一筋昇る香炉かな／梅雨晴間一筋昇る太祖堂

43. 20250702_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「折る」1句 ②当季節雑詠1句

①梅雨晴や並ぶ折傘逆さ干し

②梅雨の朝光る廊下や僧の影／百閒の光る廊下や梅雨の朝／梅雨の朝光る廊下や僧走る

44. 20250716_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「鳴る」1句 ②当季節雑詠1句

①初蝉や聞き耳立てし川辺道／初蝉や聞き耳立てる川辺道

②揺れる朱(あか)ほうずき市の帰りかな

45. 20250721_神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい

①鬼灯や迷う青株市の棚

②風鈴の囁く遠音隣り風

③初蝉や聞き耳立てる繁みどり

46. 20250716_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「見る」1句 ②当季節雑詠1句

①観蓮会トンボになりて巡りたし／観蓮会トンボ目線で巡りたし
／蓮池やトンボになりて巡りたし

②木漏れ日や象鼻杯飲む阿弥陀堂

47. 20250820_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「回る」1句 ②当季節雑詠1句

①盆僧や灯篭の影袈裟に揺れ／灯篭の影が回るや袈裟に揺れ／灯篭や影が回りて袈裟に揺れ／盆僧や回る灯篭袈裟に揺れ／灯篭や影の回るや袈裟に揺れ／灯篭や影が回りて仏間揺れ／灯篭の影が回るや仏間揺れ

見出しを追加([表示形式] > [段落スタイル])すると、目次に表示されます。
② 初盆やどんな居心地施餓鬼寺／初盆や居心地を聴く施餓鬼棚／供養棚の居心地を訊く盂蘭盆会／初盆や棚の居心地聞いてをり

****
9. 灯篭や影が回りて仏間揺れ

回り燈籠でしょうか。掲句、「灯篭や」と切っていますが、意味は

切れていません。灯籠の影が「回りて」仏間が「揺れた」ということで

「何が何して何々」という報告になってしまいました。

「回る」がテーマですから「回る」を入れたのだと思いますが、

単に燈籠の影が回っている、揺らいでいることを言えば良いです。

(例)燈籠の影回りたる仏間かな

燈籠の影揺らぎたる仏間かな

16. 初盆や居心地を訊く施餓鬼棚 (木下研作)

「初盆」と「施餓鬼棚」の季重なりです。亡くなった方に施餓鬼棚の

居心地を聞いているという意味だと思いますが、文の形からは「訊く」は

終止形ではなく（終止形だとしたら三段切れ）、連体形ですので、施餓鬼棚

に掛って、施餓鬼棚が主語と読めてしまいます。

語順を変えて「施餓鬼棚の居心地を訊く」でしょう。

（例）供養棚の居心地を訊く盂蘭盆会

初盆や棚の居心地聞いてをり
****

48. 20250818_神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい

①燈篭の影が回るや仏間揺れ

②初盆や居心地を訊く施餓鬼棚／供養棚の居心地を訊く盂蘭盆会
③観蓮会トンボになりて巡りたし

49. 20250820_青葉風俳句大会　未発表の、夏もしくは秋の雑詠2句一組、@1,000円

①風鈴や遠音耳貸す書斎窓／風鈴の囁く遠音書斎窓／風鈴の囁く遠音隣り風

②蓮池やトンボになりて巡りたし

50. 20250903_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「眠る」1句　②当季節雑詠1句

①睡蓮や寝ぼけまなこも池の華

②風に鳴る風船かずら庭の涼 ／風に鳴る風船かずらのぞく子ら／風に鳴る風船かずら通学路

51 . 20250917_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「振る」1句　②当季節雑詠1句

①秋刀魚焼く久し振りかなフルサイズ

②墓じまい柱数えし秋彼岸／墓じまい柱数えし走馬灯／秋彼岸柱数えし墓じまい／秋彼岸しまう柱や数えをり

52. 20250915_神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい

①焼き秋刀魚久し振りかなフルサイズ

②秋彼岸移す柱を数えをり

③炎暑日や娘も小傘親子連れ

53. 20250920_神奈川県現代俳句協会俳句大会2句_

①焼き秋刀魚久し振りかなフルサイズ

②秋彼岸しまう佛を数えをり

③炎暑日や娘も小傘親子連れ／炎暑日や晴雨兼ねたる親子傘

④萩散るや恩師の訃報回しをり

⑤初盆や棚の居心地聞いてをり

最終投句
③炎暑日や娘も小傘親子連れ
⑤初盆や棚の居心地聞いてをり

54. 20250924_磯子凪句会投句5句(初回参加)
①「運」の兼題詠み込み　②~⑤当季雑詠

①杉の香を運ぶリングや秋の空／大リング杉の香運ぶ秋の空／秋空や杉の香運ぶ大リング
②綿摘や露の乾きを待つ朝
③酒粕の売り始め訊く古酒屋
④炎暑日や娘も小傘親子連れ
⑤秋彼岸しまう仏を数えをり

55. 20251001_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「突く」1句　②当季節雑詠1句

①秋の風杉の香突くや大リング

②ずっしりと稲架(はざ)のたわみや里の風

56 . 20251015_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「貼る」1句　②当季節雑詠1句

①雲裏の月見の会やチラシ観る

②新米の半俵袋郷の顔

57. 20251020_第66回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい

①新米の半俵袋届く里（1点）

②秋の風杉の香走る大リング（0点）

③ずっしりと稲架はざのたわみや里の風（2点）

58 . 20251105_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「噛む」1句 ②当季節雑詠1句

①干芋のかけら噛みしめ一人酒／立冬の冷気噛みしめ深呼吸

②芋煮会かまど駆け寄る秋の川／芋煮会かまど駆け寄る秋の谷／芋煮会炉端駆け寄る秋の谷／芋煮会駆ける炉端や秋の谷

59. 20251105_舞鶴墓じまい

①秋霖や百年越しの墓じまい

②墓じまい想い連なる神無月

60. 20251119_①兼題「治る」1句 ②当季節雑詠1句

①秋時雨おさめし墓や百年目

②大き目を担ぐ熊手や得意顔(1点)

61. 20251114_一の酉@大鷲神社

大き目の肩に熊手や得意顔

火打石垂れる頭や酉の市

火花散り響く手拍子一の酉／散る火花手拍子響く一の酉

木守柿鳥に半分ついばまれ

62. 20251117_第67回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①干芋のかけら噛みしめ一人酒（1点）
②秋霖や百年越しの墓じまい（6点）
③散る火花手拍子響く一の酉（2点）

63. 20251126_磯子凪句会投句5句(2回目参加)
①「濁」の兼題詠み込み(「抱く」の勘違い) ②~⑤当季雑詠
①秋の星白濁に座す万座の湯／秋の星白濁ひたる万座の湯／秋の星湯気も白濁万座の湯／角打ちの濁酒試す冬日和(3点)
②散る火花手拍子響く一の酉／散る火花頭を垂れる一の酉k
③新米の半俵袋届く里
④秋霖や百年越しの墓じまい（3点）
⑤大鍋を囲む芋煮や河原風（2点）／大鍋を分ける芋煮や河原風

64. 20251203_未来塾「俳句を楽しむ」①兼題「当たる」1句 ②当季節雑詠1句

①大鷲(おおとり)の射的の的やミニ熊手／大鷲(おおとり)の射的に並ぶミニ熊手

②錦秋やスズのあとゆく立石寺／芭蕉忌やスズのあとゆく立石寺／最後かとスズのあとゆく立石寺／観納めとスズのあとゆく立石寺／芭蕉忌や山寺の紅観納めし／芭蕉忌の山寺の紅見納めし／芭蕉忌の山寺登る最後かな

佐藤評
△１１．大鷲(おおとり)や射的に並ぶミニ熊手　（木下研作）
　大鷲とは「大鷲神社」でしょう。酉の市に射的屋があったのでしょうか。
実景感があります。「大鷲」と「ミニ熊手」の対比が面白いユーモア句です。

私も予選に頂きました。
ただ、上五の「や」はどうでしょう。上五の「や」は感動点の提示ですから、
大鷲神社に詠嘆をしていることになります。この句の眼目、発見は「ミニ熊手」
の方ではないでしょうか。上五は「の」の方が自然でしょう。

（例）大鷲の射的に並ぶミニ熊手

　２２．芭蕉忌の山寺登る最後かな　（木下研作）
「…最後かな」と詠嘆していますが、この「最後」とは何を言っているの
か分かり難いです。山寺を登る人々の中で、自分が最後尾で登っていることを
言っているのか、或いは、「山寺を登るのはこれが最後だろうか」という感慨を
言っているのか。おそらく意図は後者なのだろうと思いましたが、「最後かな」と
最後であることを断定的に言っているので、そうとは取り難いです。
（口語の疑問の助詞「かな？」の意味で使っている訳でもないでしょう。）
最後だろう（か）、という疑問・推量の意味をはっきり分かるようにして。

（例）山寺を登る最後か翁の日

65. 20251215_第68回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①天日干す大根棚や三浦浜(3点)
②年の暮仏具磨きて目覚めけり
③山寺を登る最後か翁の日(2点)

66. 20251217_未来塾「俳句を楽しむ」 ①兼題「磨く」1句　②当季節雑詠1句
①磨けども光らぬままの虎落笛／年の暮仏具磨きて目覚めけり(1点)

②生(な)り年と届く枝柿三函目／生(な)り年と届く柿ジャム函のすみ

67. 20251220_蛮の会　第192回熱刀句乱舞句会＠横浜市幸画ヶ谷集会場（初回）
①テーマ「控える」2句　②雑詠2句　計4句　cf欠席者投句　テーマ1句雑詠1句　計2句

①テーマ「控える」2句
芭蕉忌の山寺登る最後かな(1点)
年の瀬やし残し並ぶ手帳替え

②雑詠2句
栞にと桜紅葉や夕陽坂

冬日差す枯露柿の陰古屋敷

68. 20251219_第68回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい

天日干す大根棚や三浦浜
年の暮仏具磨きて目覚めけり
山寺を登る最後か翁の日

69. 20260107_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「新年詠」1句 ②当季節雑詠1句
①床の間の隅の賑わい七福神／彼までも年賀じまいや古き縁(1点)
②看病の甲斐のなきしか寒見舞／日めくりの当たる格言初暦／角打の変わる日めくり年の暮

70. 20260107_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「光る」1句 ②当季節雑詠1句
①灯す火やしんと静まるどんど焼き(2点)
②松過や響く石焼芋の声／松過や響く石焼藷の声(2点)

71. 20260119_第69回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①蠟梅や黄の鎧兵(よろいへい)一番手
②看病の甲斐のなきしか寒見舞(2点)／看病の甲斐もなきかな寒見舞
③松過や響く石焼芋の声／松過や響く石焼藷の声

72. 20260125_蛮の会新年句会＠横浜市幸ヶ谷集会場
①テーマ 当季雑詠4句 cf 欠席者投句 テーマ1句当季雑詠2句
上記3句を出句

松過や響く石焼藷の声（1点）
蠟梅や黄の甲冑の一番手
看病の甲斐もなきしか寒見舞
彼までも賀状じまいや半世紀（1点）
新聞の投函音や寒鴉

73. 20260128_磯子凪句会投句5句(3回目参加)
①「変」の兼題詠み込み ②~⑤当季雑詠

①黄梅や変り者かな別に咲く／黄梅や変り者かな先に咲く
②億両やつい万両と比べをり／万両やつい億両と比べをり
③寒晴や臥龍梅まで睨みける／寒日和臥龍梅もが睨む空／成す群や臥龍梅との日向ぼこ
④蠟梅や黄の甲冑の一番手
⑤新聞の投函音や寒雀／新聞の配達の音寒鴉(かんがらす、かんが、3音でもOK)(1点)
⑥日めくりの当たる格言初暦／日めくりのささる格言春隣(1点)

74. 20260204_未来塾「俳句を楽しむ ①兼題「洗う」1句 ②当季節雑詠1句
①筆洗い上達願う冬薔薇／冬薔薇上達願う筆洗い(1点)
②日めくりの当たる格言春隣／日めくりのささる格言春隣(6点)

③霜柱白き池辺の朝残る／霜柱光る池辺の朝残る
④春隣梅と菜の花の揃い踏み／淡き日の梅と菜の花まぶしかり／東風吹けば梅と菜の花揺れ合えり／金色の海に浮きたる紅白梅

75. 20260218_未来塾「俳句を楽しむ　①兼題「欠ける」1句　②当季節雑詠1句
①欠ける手の雛人形や細面／欠ける手の雛人形や古屋敷／欠ける手の雛人形や江戸の顔／欠ける手の雛人形や明治顔／欠ける手や雛人形の細面／欠ける手の雛人形や長面／池上の欠けし燈篭枝垂れ梅／板粕の売り切れ惜しむ冬帽子／酒粕の完売を知る冬帽子／蔵出や雛人形の細面
②春の雪中2の家も雪だるま／春の雪中2の家もミニだるま／春雪や中2の家もミニだるま／淡雪やいで湯気分のジム露天／角打の古さ争い春の宵

76. 蛮77号の「蛮作品」6句への投句
題名：日めくり
住所：横浜市
氏名：木下 研作
仮名遣い：旧かな
作品(6句)：
日めくりのささることわざ春隣
冬薔薇上達願い洗う筆
松過や響く石焼藷の声
看病の甲斐もなきしか寒見舞
彼までも賀状じまいや半世紀
角打ちの濁酒試す冬日和

佐藤　久先生のご指導で、旧仮名遣い(下線部)と順序(時系列昇順)を変更し、以下で投稿
日めくり　横浜市　木下研作
角打ちの濁酒試す冬日和
冬薔薇上達願ひ洗ふ筆
彼までも賀状じまひや半世紀
松過や響く石焼藷の声
看病の甲斐もなきしか寒見舞
日めくりのささることわざ春隣

77. 20260216_第70回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①春雪や中2の家もミニだるま
②淡雪やいで湯気分のジム露天
③欠ける手の雛人形や細面

78. 20260220_第六回木の芽風「俳句の島」俳句大会

① 欠けし手の雛人形の細面⇒「秀逸」作で入賞
②跳ね返る川面の光春の鯉／日めくりのささることわざ春隣

前回)竹林の厚き敷き藁春隣⇒「秀逸」作に選定
前回)蠟梅や黄の鎧兵一番手

79. 20260221_蛮の会　第193回熱刀句乱舞句会＠横浜市幸ヶ谷集会場
①テーマ「広める」2句　例えば、広告、広場、広野、等々もOK
②雑詠2句　計4句　cf欠席者投句　テーマ1句雑詠1句　計2句

①黄砂舞う舞鶴湾の広き空／黄砂舞う天の橋立の広き空／黄砂舞う股からのぞく広き空／酒粕の完売広告冬帽子／酒粕の売り切れ惜しむ冬帽子／酒粕の売り切れ表示角打ち呑み／梅の香や広野の菜花と揃い踏み／広野風菜の花揺れる吾妻山／菜の花や 広野の果ての 海の青／菜の花や 広野の果ての 相模湾(1点)／菜の花や 畑の果ての 相模湾／寒風を 黄色に変える 広野かな

②枝垂れ梅自撮りの二人空くを待つ／梅まつり磯子芸妓のハマ音頭／淡雪や湯気に月みるジム露天／春愁や捨てる本束紐を解く／菜の花忌遠き雲見る坂の上／ネジを巻く懐中時計や父の春／春愁や捨てる本束紐を解く(1点)

（参考）20251220_蛮の会　第192回熱刀句乱舞句会
①テーマ「控える」2句
芭蕉忌の山寺登る最後かな(1点)
年の瀬やし残し並ぶ手帳替え

②雑詠2句
栞にと桜紅葉や夕陽坂
冬日差す枯露柿の陰古屋敷

80. 20260222_第50回三渓園観梅俳句大会＠鶴翔閣
嘱目　1句
①寒晴や臥龍梅まで睨みける／寒日和臥龍梅もが睨む空／成す群や臥龍梅との日向ぼこ／臥龍梅歳を重ねど空にらむ／地を這うや支柱の朽ちし臥龍梅（石田作）
②梅東風（うめごち）や 根岸の海の 香を運び／春疾風（はるはやて） 茅葺き屋根を 撫でてゆく／草餅の 香りに誘われ 園の茶屋／三重塔 空を貫き 春の雲／大池の 波紋をゆらす 梅の風／臥竜梅（がりょうばい） 地を這う龍の 目覚めかな／梅の香や三重塔天を刺す（1点）

81. 20260304_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「切る」1句　②当季節雑詠1句
①酒粕の売切を知る冬帽子／酒粕の売切惜しむ冬帽子／水面切る鴨の航跡光りける／梅切って甲斐ある色の極まれり（色の鮮やかさを強調）／剪定の際にこぼるる梅の花（作業の跡を具体的に表現）／梅の枝切りし甲斐あり際に咲く／梅の枝切し際より咲きにけり(添削1)／梅の枝切りしあたりに咲きにけり(添削2)
②淡雪やいで湯気分のジム露天／角打の古さ争い春の宵／春節や百節龍とにらみ合う

後日佐藤先生から以下の講評をいただきました。

今回の木下さんの句について

梅の枝切りし甲斐あり際に咲く（木下研作）

実感のある句ですが、俳句としては説明的で作者の感想を言ってしまっています。
「甲斐あり」などと**主観的な観念語（具体的なモノではないので、映像が浮かばない）は使わないようにしましょう**。「咲いた」という事実を出すだけで十分です。

「際に咲く」は少し意味がとり難い。枝の際なのか、塀際なのか？

おそらく「切口」の際でしょう。

（例）梅の枝切し際より咲きにけり

梅の枝切りしあたりに咲きにけり

△２３．春節や百節龍とにらみ合う（木下研作）

これは勢いのある句で良いと思います。横浜中華街の景でしょう。

私は実景が浮かびましたので、予選で頂きましたが、「百節龍」が

分からないかも知れませんね。私も調べて知りました。

82．20260318_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「流れる」1句　②当季節雑詠1句
①小米花流れ咲く先子ら遊ぶ／小米花流れ咲く川遊ぶ子ら

②伊予柑の箱の底視る地のニュース／伊予柑の箱に底敷く地方版／伊予柑の箱の底視る地方版／伊予柑の箱の底には地のニュース／伊予柑の箱の敷紙や地のニュース（4点）

83．20260316_第71回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①伊予柑の箱の敷紙や地のニュース(1点)
②雪柳流れ咲く先子ら遊ぶ(2点)
③跳ね返り光る川面や春の鯉／跳ねる鯉光る川面や鳥帰る
前回
①春雪や中2の家もミニだるま
②淡雪やいで湯気分のジム露天
③欠ける手の雛人形の細面

84. 20260321_蛮の会　第194回熱刀句乱舞句会＠横浜市幸ヶ谷集会場
①テーマ「跳ねる」2句　例えば、水、跳び箱、歌舞伎、等々もOK
②雑詠2句　計4句　cf欠席者投句　テーマ1句雑詠1句　計2句
①跳ねる鯉光る川面や水温む(1点)
園児列の靴底跳ねる桜道／桜道園児の靴の跳ねりける(添削)
②後継ぎの苗の早咲き初桜(3点)
伊予柑の箱の敷紙地方版(6点)

85．20260325_磯子凪句会投句5句(4回目参加)
①「当」の兼題詠み込み　②~⑤当季雑詠
①マテ貝や塩にびっくり当たり年／マテ貝や塩に飛び出す当たり年

②雪柳流れ咲く川子ら遊ぶ
春の暮老舗蕎麦屋の店仕舞／鳥帰る老舗蕎麦屋の店仕舞／鳥帰るひいき蕎麦屋の店仕舞(1点)
春蘭の花の緑や細き径／山の径／谷の底／山の陰／春蘭の淡き緑や雨の後
空豆や焼いて塩して福の肴(あて)⇒空豆は初夏の季語、5月に回す
日脚伸ぶ机の奥の腕時計(1点) ⇒別句会で来年2月頃に出句するとよい
彼岸会や移した仏数えおり／彼岸会や居心地を訊く供養塔／彼岸会や居心地どうか供養塔／彼岸会や居心地を訊く納骨堂／彼岸会や居心地どうか納骨堂

（前回）
①「変」の兼題詠み込み ②~⑤当季雑詠

①黄梅や変り者かな別に咲く／黄梅や変り者かな先に咲く
②億両やつい万両と比べをり／万両やつい億両と比べをり
③寒晴や臥龍梅まで睨みける／寒日和臥龍梅もが睨む空／成す群や臥龍梅との日向ぼこ
④蠟梅や黄の甲冑の一番手
⑤新聞の投函音や寒雀／新聞の配達の音寒鴉(かんがらす、かんが、3音でもOK)(1点)
⑥日めくりの当たる格言初暦／日めくりのささる格言春隣(1点)

86. 20260401_未来塾 俳句を楽しむ ①兼題「計る」1句 ②当季雑詠1句
①下がるまで測る血圧春深し(9点：初めて1位）
佐藤先生から、もつ滑稽感から 「下がるまで測る血圧猫の恋」 の修正の話あり
②鳥帰る馴染み蕎麦屋の店仕舞い(3点)

87. 202604015_未来塾 俳句を楽しむ ①兼題「連なる」1句 ②当季雑詠1句
①プチュクチャと群れる鯉かな飛花落花(2点)／プチュクチャと群れゐる鯉や花の雨(佐藤添削)
②春雨や傘の花片も折りたたむ(7点)／春雨や傘の花片の畳まるる(佐藤添削)／碑にも飛花三渓園の虚子忌かな／公園のサックスマンや花吹雪

88. 20260418_蛮の会 第195回熱刀句乱舞句会＠横浜市幸ヶ谷集会場
①テーマ「習ふ」2句 例えば、校舎、筆、見習い、等々もOK
②雑詠2句 計4句 cf欠席者投句 テーマ1句雑詠1句 計2句以上
①親父より 新聞の記事の切り抜き習いけり／公園のサックスマンや花吹雪(4点)
青葉雨親父の呑み屋習いけり／父親の角打ち習う青葉雨／親からの角打ち通う青葉風
② 空豆や焼いて塩して福のあて／空豆や焼いて塩して湯気食らう／碑にも飛花三渓園の虚子忌かな／春雨や傘の花片の畳まるる(2点)／プチュクチャと群れゐる鯉や花の雨／下がるまで計る血圧恋の猫(4点)／いま主役日陰に芽吹く茗荷竹／葉ボタンの茎立ち手足伸びにけり

83. 20260420_第72回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①公園のサックスマンや花吹雪(5点)／公園のサクソフォニスト花吹雪／公園のサックス奏者花吹雪／公園のサックス吹きや花吹雪
②春雨や傘の花びら畳まるる
③下がるまで計る血圧恋の猫(4点)

（前回）
①伊予柑の箱の敷紙や地のニュース(1点)
②雪柳流れ咲く先子ら遊ぶ(2点)
③跳ね返り光る川面や春の鯉／跳ねる鯉光る川面や鳥帰る

84. 20260510_蛮78号の「蛮作品」6句への投句
題名：サックス奏者
住所：横浜市
氏名：木下 研作
仮名遣い：旧かな
鳥帰る馴染み蕎麦屋の店仕舞
伊予柑の箱の敷紙地方版
プチュクチャと群れゐる鯉や花の雨
春雨や傘の花片の畳まるる
公園のサックスマンや花吹雪／公園のサックス奏者花吹雪
下がるまで測る血圧恋の猫

85. 202605013_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「映る」1句　②当季雑詠1句
①豆鯵や郷の岸釣り想いをり／亀戸の藤浪映る心字池／亀戸(かめいど)の映る藤浪太鼓橋／亀戸の藤浪映す心字池／亀戸の映る藤波心字池
②古民家の武者人形や角(つの)の傷(2点)／古民家の鍬形欠けし武者人形／古民家の欠けし鍬形武者人形

86.　20260518_第72回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①豆鯵や郷の岸釣り想いをり／白薔薇やアーチ越しの海の塔
②父親の角打ち習う青葉雨／親父から続く角打ち青葉雨／水塔の白き煉瓦や夏来る(1点)
③古民家の武者人形や角(つの)の傷(1点)

（前回）
①公園のサックスマンや花吹雪(5点)／公園のサクソフォニスト花吹雪／公園のサックス奏者花吹雪／公園のサックス吹きや花吹雪
②春雨や傘の花びら畳まるる
③下がるまで測る血圧恋の猫(4点)

87. 02605016_蛮の会蕎麦屋談義吟行＠山下公園
海風やバイクで抜けるアスリート
水塔の白き煉瓦や夏来る
シーバスも連休疲れ風薄暑
若葉風放水柱出迎える
海風や句帳のページさぐりをり
白薔薇やアーチの奥の海の塔/氷川丸

88. 202605027_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「頼む」1句　②当季雑詠1句
①夏霞会う約束の風頼み／夏霞永い会誌の止め頼む／◎夏霞/葉桜や/永い購読止め頼む／葉桜や古い購読止め頼む／青葉風延ばす貸出頼みをり／若葉風延長頼む返却日／青葉風延長頼む貸出書／夏霞/葉桜や/続く延長貸出書

②白南風(しらはえ)や中古を選ぶカメラ替え／白南風や中古を選ぶ新カメラ／夏霞(更衣、葉桜や、五月雨や)中古を選ぶカメラ替え／◎日脚伸ぶ机の奥の腕時計／◎梅雨晴や町内会の落語会／花菖蒲白い日傘と映る影/揺れており／遠雷や茶の葛餅の土産物／テープ切り並ぶカメラのシャッター音／テープ前子の数こえるカメラマン（運動会は秋の季語で使えず）／白薔薇やアーチの奥の海の塔/氷川丸/

89. 20260603_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「上る」1句　②当季雑詠1句

①雨上り雫に映す若楓◎／雨上る半夏生葉の白光る/白きかな/／雨上りのぞく雫や若楓(1点)
②黒南風や/白い日傘と映る影/揺れており／松霞続く延長貸出書／木漏れ日の揺れる影絵や夏来る／木漏れ日の影絵ふみゆく夏来る／帰りには海鞘の燻製缶ビール/新幹線/／木漏れ日の揺れる影絵や夏来る／木漏れ日の揺れる大波夏来る／木漏れ日の影絵の浪揺れ夏来る△／木漏れ日の影絵の浪や夏来る／木漏れ日のくぐる網目や苔の花(7点)

4. 雨上りのぞく雫や若楓　（木下研作） 佐藤先生講評
　若楓と雨上がりの雫の取合せは爽やかですね。上五「雨上り」で切れているのか。もし切れているとすると、中七でも「や」で切れていますから、三段切れになっています。切れていないと読むと、「雨上がりに」か「雨上がりの」の助詞が省略されているということになりますが、その後に続く「のぞく雫」が曖昧です。何が何を「のぞく」のか、よく分かりません。「覗く」なのか「除く」なのかも曖昧ですね。おそらく、雨上がりの若楓に「雫」が「見えていた」ということなのでしょう。
そうであれば、中七下五を一続きにして、上五で切って。
（例）雨上がり雫の見ゆる若楓
雨上がり雫つらなる若楓

○３０. 木漏れ日のくぐる網目や苔の花　（木下研作）佐藤先生講評
網目とは何か分かり難かったですが、樹々の枝が重なる隙間のことを「網目」と言ったのだろうと読みました。そこを「木洩れ日のくぐる」と捉えたのが新鮮です。木洩れ日が落ちる地表には苔の花。陰影と色彩のコントラストが豊かな美しい景。

90. 20260617_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「重ねる」1句　②当季雑詠1句

①アメンボの幾重の波紋/水輪/薬師池／アメンボの波／紋重なる/水輪ぶつかる/菖蒲池/薬師池/／アメンボのぶつかる/重なる/水輪薬師池／アメンボの重なる水輪舞踏会(1点)
梅雨晴間盃重ねる蕎麦談義／葛切りで〆る盃蕎麦談義○

②蓮浮葉プカリプカリとはじく雨／蓮浮葉水玉ゆれるプカリかな／蓮浮葉雨水光るプカリかな／蓮浮葉雨水揺らしプカリかな／蓮浮葉雨粒ためてプカリかな／蓮浮葉雨粒かかえプカリかな／蓮浮葉プカリプカリとためる雨／蓮浮葉の貯める雨粒光る池／蓮浮葉の貯める雨粒光る池(1点)

91. 20260515_第72回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何で

もよい
①雨上り雫の奥の若楓／雨上り雫に映る若楓（1点）
②アメンボのぶつかる水輪薬師池／アメンボの重なる水輪薬師池／アメンボの重なる水輪舞踏会（6点）
③蓮浮葉雨粒かかえプカリかな／蓮浮葉の貯める雨粒光る池
④葛切りで〆る盃蕎麦談義
⑤殻を摘む赤いタスキや梅雨晴／殻を摘む紺のカスリや梅雨晴間

92. 2026020_蛮の会 第195回熱刀句乱舞句会＠横浜市幸ヶ谷集会場
①テーマ「進む」2句　例えば、工事、交渉、技術、等々もOK
②雑詠2句　計4句　cf欠席者投句　テーマ1句雑詠1句　計2句以上
①ヤマモモの積もる深紅やランチョン布／ヤマモモの積もる深紅や光る布
②梅雨深し進む亀の子池の縁／五月雨や池の縁ゆく小さき亀
③葛切りで〆る盃蕎麦談義／アメンボの重なる水輪舞踏会〇
④雨上り雫に映る若楓／雨上り雫の奥の若楓／雨上りの覗く雫や若楓／雨上がり雫つらなる若楓
⑤木漏れ日のくぐる網目や苔の花（3点）
⑥梅雨晴間並ぶ折り傘逆さ干し（1点）
⑦梅雨晴間町内会の落語会

93. 20260701_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「鳴る」1句 (電話、時報、雷、腹）、②当季雑詠1句
①葛切りで〆る盃蕎麦談義／荒梅雨や地震警報鳴りやまず／荒梅雨や嵐と揺れの取り合せ/ツーショット/揃い踏み/詰め合せ/嵐に揺れも積み増しか/嵐の揺れに鳴るスマホ/嵐に揺れて鳴るスマホ／荒梅雨や嵐と揺れと鳴るスマホ
②梅雨晴間町内会の落語会 / 五月雨や池の縁ゆく小さき亀／亀の子や沖へ沖へと三渓園/大冒険/無鉄砲/親離れ

（前回）
①アメンボの幾重の波紋/水輪/や薬師池／アメンボの波／紋重なる/水輪ぶつかる/菖蒲池/薬師池/／アメンボのぶつかる/重なる/水輪薬師池／アメンボの重なる水輪舞踏会(1点)
梅雨晴間盃重ねる蕎麦談義／葛切りで〆る盃蕎麦談義〇

②蓮浮葉プカリプカリとはじく雨／蓮浮葉水玉ゆれるプカリかな／蓮浮葉雨水光るプカリかな／蓮浮葉雨水揺らしプカリかな／蓮浮葉雨粒ためてプカリかな／蓮浮葉雨粒かかえプカリかな／蓮浮葉プカリプカリとためる雨／蓮浮葉の貯める雨粒光る池／蓮浮葉の貯める雨粒光る池(1点)

94. 20260715_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「叩く」1句 (電話、時報、雷、腹）、②当季雑詠1句
①白南風や長寿の会のハーモニカ(5点)
②夕陽差す茅の輪くぐりて身を祓う/清め/／夕陽差すく/夕風の/くぐる茅の輪や天の橋/空翔ける/声細くくぐる茅の輪や空翔ける

95 . 20260718_蛮の会 第196回熱刀句乱舞句会＠横浜市幸ヶ谷集会場
①テーマ「進む」2句　例えば、工事、交渉、技術、等々もOK

②雑詠2句　計4句　cf欠席者投句　テーマ1句雑詠1句　計2句以上
①白南風や長寿の会/ふれあい会/町内会/のハーモニカ(1点)
②永谷宮/天満宮/くぐる茅の輪や空を切る／空を切り迫る茅の輪や大祓い／天と地をぐるぐるぐると茅の輪かな／天と地をぐるぐるぐると大祓/夏祓/
③葛切り/葛餅/で/の/〆る盃蕎麦談義/藪蕎麦屋／葛切や宴席しめる藪蕎麦屋／蕎麦会の〆る葛切り残る蜜
④初蝉や聞き耳立てる/しんと聴き入る/背から聴き入る/背中から聴く/立呑屋(5点)
⑤あめんぼの重なる水輪舞踏会(1点)
⑥蓮池や日影をめぐるメダカかな
⑦砂浜の空を切り取る雲の峰／モクモクと空を切り取る雲の峰／青空を切り取り放題雲の峰／青空を端から食べて雲の峰(河本)

96. 20260719_第73回神奈川県現代俳句協会インターネット句会3句_当季雑詠など何でもよい
①白南風や敬老会のハーモニカ(3点)
②大輪やぐるぐるぐると夏祓(なつはらえ)(1点)
③初蝉や背中聴き入る立呑屋／初蝉や背から聞こゆる立呑屋

(前回)
①雨上り雫の奥の若楓／雨上り雫に映る若楓（1点）
②アメンボのぶつかる水輪薬師池／アメンボの重なる水輪薬師池／アメンボの重なる水輪舞踏会（6点）
③蓮浮葉雨粒かかえプカリかな／蓮浮葉の貯める雨粒光る池
④葛切りで〆る盃蕎麦談義
⑤殻を摘む赤いタスキや梅雨晴間 ／殻を摘む紺のカスリや梅雨晴間

97. 20260720_70周年記念(第69回)横浜俳句大会(横浜俳話会)投句(1,000円X2組、2句/組)
①初盆や居心地を訊く施餓鬼棚
②風に鳴る風船かずらところてん／風に鳴る風船かずら喫茶店／風に鳴る風船かずら呉服店
③秋彼岸仏数えて墓しまう／秋彼岸仏数えてしまう墓
④遊ぶ声小さくなりて秋惜しむ／遊び声小さくなりて秋惜しむ
⑤金亀子闇にぶつかる無法者／金亀子闇討ちかける鎧武者／金亀虫飛び来る闇の深さかな

98. 20260722_磯子凪句会投句5句(5回目参加)
①「安」の兼題詠み込み　②~⑤当季雑詠
①天草や安直(あんちょこ)ながめ煮込みをり／天草や安直(あんちょこ)たより煮込みをり
②金亀虫飛び出す闇の深さかな／金亀虫飛び来る闇の無法者／金亀虫ぶつかる闇の無法者／金亀虫闇にぶつかる無法者（1点）
③風に鳴る風船葛や喫茶店／風に鳴る風船葛や呉服店
④浜木綿や生きる境の佐島の浜／浜木綿の生きる境の佐島かな(鹿又英一主宰添削)
⑤風鈴市800種もの多重奏／風鈴市800曲の多重奏／風鈴市地元自慢の多重奏／風鈴市風来る度の多重奏／風鈴市故郷自慢の多重奏／風鈴市故郷なまりの多重奏／風鈴市お国自慢の多重奏／

99. 20260805_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「冷える」1句 (手、冷蔵庫、冷房、西瓜)　、②当季雑詠1句
①冷房の結露で移動暑気払い
②初蝉や背に聞こゆる立呑屋〇／鰻の日貼って値上げのお品書き〇／浜木綿の茂る/しげる/生きる/生える/北端佐島かな／くず餅や貼って/消して/値上げ/のお品書き／金魚藻の間をくぐる…／水浴びる通し鴨かな厚着して〇

100. 20260819_未来塾　俳句を楽しむ　①兼題「切る」1句 (手、冷蔵庫、冷房、西瓜)　、②当季雑詠1句
①秋蝉や切通し抜け源氏山／秋蝉や切通し抜け海の風／切通し抜けて海見ゆ秋の空 ／切通し抜けて鎌倉秋の風 ／秋風や切通し抜け相模湾／秋暑し切通し抜け相模湾／秋蝉や切通し抜け由比ヶ浜／／秋暑し/秋蝉や/切通し抜け由比の風 (2点)
②盆僧の鉦の余韻や棚の遺影/額の顔/棚の額/並ぶ額/棚の顔／棚経の鉦の余韻や並ぶ額/浮かぶ影/／棚経の香煙揺らす遺影かな ／棚経の煙で遺影丸くみえ ／金亀虫飛び出す闇の深さかな／墓参り遺骨現る/繰り出す/納骨堂/遺骨箱/

（前回）①冷房の結露で移る暑気払い
②初蝉や背に聞こゆる立呑屋〇／鰻の日貼って値上げのお品書き〇／浜木綿の茂る/しげる/生きる/生える/北端佐島かな／くず餅や貼って/消して/値上げ/のお品書き／金魚藻の間をくぐる…／水浴びる通し鴨かな厚着して〇